

まごころ通信 第9回

2011. 7. 25号

仁厚会病院 看護部長室

7月7日 17:30~18:45 仁厚会病院 7Fラウンジにおいて
仁厚会病院地域住民講座が開催されました。

形成外科 岩崎 茂夫医師より しみ(シミ)の種類と治療について
参加者多数 60名 会場から質問が多く、なごやかな雰囲気です。盛況に
終了しました。

しみ(シミ)とは、皮膚の色素の局所的な増量のことです。

その原因は、しみの種類によってさまざまです。

また、しみの種類により取り方・治療法が大きく違いますので、しみの診断を
正しく行うことが何よりも大切です。

顔のしみは、老人性色素斑(日光黒子)、肝斑(かんぱん)、ADM(後天性真皮
メラノサイトーシス)、そばかす(雀卵斑)、炎症性色素沈着に分類されます。

肝斑(かんぱん)

女性に圧倒的に多く、頬や額に左右対称性できるしみで、周囲皮膚と境界が
はっきりせず、広がりがあるのが特徴です。

女性に多く30歳~40歳代に多くみられます。

出産後。経口避妊薬内服や閉経など女性ホルモンの影響が発症の引き金になる
ことが多いです。

そばかす(雀卵斑)

学童期頃に発症する1~5mm大の顔の色素斑で、目・鼻・頬周囲に左右対称性に
分布するが多いのがこのしみの特徴です。レーザー治療やフラッシュ光線に
よるフォトフェイシャル療法で改善します。

炎症性色素沈着

にきびの跡や外傷・火傷、アトピー性皮膚炎の跡がしみになった場合です。



**※ しみ についてのご相談は下記の曜日にお越しください。レーザー治療の場合は
10時30分までに受付して下さい。岩崎医師のモットー 親切！丁寧！優しさです。**

形成外科外来表

	月	火	水	木	金	土
午前 8:30~ 11:30	/		/			
午後 13:00~ 16:00	/		/		/	/

しみの治療 初診500円、10:30~11:30受付、16:00~17:00受付